

**神戸商工会議所 経営発達支援計画
外部有識者委員会 実施報告**

神戸商工会議所

1. 当商工会議所の経営発達支援計画の概要

実施期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
目標	<p><u>経営発達支援事業の目標</u></p> <p>(1) 小規模事業者のビジネス環境の整備と都市魅力の創出 (2) 小規模事業者の新たな需要開拓の推進 (3) 小規模事業者の長期的な経営基盤の強化</p> <p>市内企業の太宗を占める小規模事業者は、地域における社会資本・生産活動・雇用創出の重要な担い手である。一方で、経済のグローバル化、AI・IoTの急速な普及、また、生産年齢人口の減少や高齢化といった我が国を取り巻く産業・社会における構造変化は、神戸においても例外なく地域振興上の大きな課題となっており、小規模事業者の事業環境に大きな影響を与えている。</p> <p>神戸商工会議所及び神戸市は、地元経済を支える基盤である小規模事業者を支援するため、販路開拓を通じた売上向上による企業体質の強化、創業支援や金融支援等きめ細かな支援の拡充、都市魅力の向上による経営環境の改善を柱に、環境変化を乗り越え、次世代に輝く小規模事業者の育成を図る。</p>

当商工会議所では市内小規模事業者の持続的発展に向け、他の支援機関との連携の下、下記の事業に取り組む。

事業内容	<p><u>経営発達支援事業の内容</u></p> <p>3-1. 地域の経済動向調査に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済動向に関する外部情報の収集・分析と地区内事業者のアンケート調査を実施する。 <p>3-2. 需要動向調査に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会や展示会等において意見収集及び分析を行い、整理・分析して結果を出展者等にフィードバックし、今後の支援に活用する。 <p>4. 経営状況の分析に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マル経融資利用者、持続化等各種補助金の申請者、当商工会議所の創業支援を受けて創業した事業所に対し、各事業所の希望に沿ったレベルで経営状況分析を実施する。 <p>5. 事業計画策定支援に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士をはじめとする外部専門家等も活用しながら、経営者の要望に沿った支援を実践する。 <p>6. 事業計画策定後の実施支援に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定事業者に対する定期的なフォローアップを実施する。
------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて中小企業診断士をはじめとする外部専門家等を活用して事業計画とのズレを検証し、修正を行う。 <p>7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別商談会・商品展示会等を企業の多様なニーズに応じて、業種別・ターゲット別に幅広く開催する。
--	---

2. 本計画の令和5年度の目標・実績について

・当商工会議所が計画した各種支援事業と令和3年度に掲げた目標値及び実績値は以下の通り。

令和5年度実施結果

項目	5年度の目標値	5年度の実績	目標達成度
3-1. 地域の経済動向調査に関すること	9回	8回	○
3-2. 需要動向調査に関すること	112社	97社	○
4. 経営状況の分析に関すること	238件	334件	◎
5. 事業計画策定支援に関すること	142件	316件	◎
6. 事業計画策定後の実施支援に関すること	284回	513回	◎
6. 売上・利益率増加事業者数	28社	23社	○
7. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	920社	899社	○

評価の目安

◎：十分達成(目標値の100%以上) ○：概ね達成(目標値の70%以上100%未満)

△：未達成(目標値の40%以上70%未満) ×：未達成(目標値の40%未満)

3. 外部有識者委員会 開催結果

(1) 日時・会場			
令和6年10月16日(水)～10月24日(木) ※書面会議にて開催			
(2) 出席者			
【委員】			
神戸市経済観光局	経済政策課長	杉森 荘太	氏
公益財団法人ひょうご産業活性化センター	経営推進部長	足立 幸	氏
公益財団法人神戸市産業振興財団	総務企画部長	広瀬 智一	氏
株式会社日本政策金融公庫	神戸創業支援センター所長	関谷 善行	氏
神戸密着経営	代表・中小企業診断士	西口 延良	氏
【事務局】			
神戸商工会議所	中小企業振興部長	柳生 利昌	
〃	〃 次長	藤原 聡	
〃	〃 担当課長	東山 卓也	

(3) 各委員から寄せられた意見・今後の期待等について

- ・令和5年度についてはコロナ禍から社会経済活動の正常化が進みつつある中、様々な課題があったと推察されるが、昨年同様ほとんどの項目で期待される水準に到達している。
- ・経営状況の分析は昨年同様、マル経融資と兵庫県新事業展開応援事業支援先を対象として行われている。事業者は価格高騰や人手不足、DX化など様々な課題を抱えておられ、すぐに解決できないことが多いとは思いますが地道に支援して頂きたい。
- ・マル経融資は令和5年度に創設50周年を迎えた小規模事業者にとって低利で資金調達を行える有用なツールであり、昨年度多数活用されている。本年度（令和6年度）も活用して頂き、経営状況が厳しい先へのフォローアップも同時に行って頂きたい。
- ・創業支援についても市内で事業所数が減少している状況で非常に重要であり、各種補助金や資金繰りなど様々な相談があると思うが困っている創業者を支援して頂きたい。
- ・SDGs取得についても積極的に推進しておられると聞いている。SDGsの取り組みも小規模事業者の経営発達において自社の企業価値を向上させる為に必要であり、普及啓発を推進して頂きたい。
- ・販路開拓について、オンライン等を活用して時代に適合した販路開拓を実施されている。売上拡大に悩んでおられる小規模事業者も多いと思うので様々な需要開拓の方法や機会を提案し、売上等の成果にも繋げていけるように支援して頂きたい。
- ・次年度は新たな計画の策定に取り組みられることになると思われるが、本計画の結果を踏まえてより現実に即した小規模事業者を支援できる計画を立てて頂けたらと思う。

以上